

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>今までの経緯から、当事業は保育園が運営している地域子育て支援事業に補助金を交付してきたが、本来、地域子育て支援拠点事業として、当事業と「つどいの広場事業」は同じ位置付けであり、今後、委託業務として（補助金交付でなく）、本市の地域子育て支援拠点施設のあり方を見直す必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>認定こども園が増えるなか、地域子育て支援を実施する認定こども園と、当事業を実施することで更に補助金交付を受けている園との差別化が難しい。合わせて、補助金交付をしている当事業の7施設(民間保育園)と、運営委託をしているつどいの広場事業は、地域子育て支援拠点事業として同じ位置付けであり、今後委託事業として、全体を見直す必要がある。</p>